

第2問 社会福祉について、問1～問5に答えなさい。

問1 北ヨーロッパ諸国における社会福祉の歴史について述べたa～cの文の正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。

No. 3

- a 1960年代頃に、スウェーデンのニイリエがノーマライゼーションの理念を提唱し、その後、デンマークのバンク＝ミケルセンらが発展させた。
- b 1970年代頃から高齢者のための福祉施設だけではなく、在宅福祉・在宅ケアが重視され、サービスハウスというケア付き住宅が各地に導入された。
- c 1980年に、デンマークでは、エーデル改革と呼ばれる制度改革が行われ、所得比例年金とともに、新たに最低年金制度を位置付け、高齢者の生活安定化を図った。

	a	b	c
ア	正	正	誤
イ	正	誤	誤
ウ	誤	正	正
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

問2 日本の高齢化について述べたa～cの文の正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。

No. 4

- a 1970年に高齢化社会、1994年に高齢社会となった。
- b 女性の平均寿命は年々延伸しているが、男性の平均寿命は短縮傾向にある。
- c 男女とも健康寿命は、年々短縮傾向にあり、平均寿命との差が大きくなっている。

	a	b	c
ア	正	誤	誤
イ	正	誤	正
ウ	誤	正	正
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

問3 老人福祉施設の説明として、最も適当なものを選びなさい。

No. 5

- ア 養護老人ホームは、65歳以上の者であって、「環境上の理由」及び「経済的理由」で居宅での生活が困難な高齢者が入所する施設である。
- イ 軽費老人ホームは、65歳以上の者であって、「身体的理由」で居宅での生活が困難な高齢者が入所する施設であり、A型とB型の2種類がある。
- ウ サービス付き高齢者向け住宅は、最も住宅に近い位置付けの施設で、入所者が車いす生活となっても自立した生活ができるよう配慮されている。
- エ 有料老人ホームは、市町村に設置の届出が必要である。また、食事の提供その他の日常生活上の便宜を提供する施設であり、利用者は生活にかかる費用の3割を負担する。
- オ ケアハウスは、利用者をいくつかのユニットに分けて小規模化し、できるだけ家庭での生活や暮らしに近づけるための施設であるが、要介護状態になった場合は利用できない。

問4 次の文は、地域包括ケアシステムについて述べたものです。1～5に当てはまる語句の組合せとして、正しいものを選びなさい。

No. 6

2012年9月、厚生労働省は「認知症施策推進1計画（オレンジプラン）」を公表し、認知症対策を総合的に推進することを方向付けた。この主な内容は、①「認知症2」の作成・普及、②早期診断・早期対応、③医療・介護サービスの充実などである。

さらに、2015年1月には、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、新たに「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)が策定された。新オレンジプランの7つの柱として、①認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進、②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供、③3性認知症施策の強化、④認知症の人の介護者への支援、⑤認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進、⑥認知症の4法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進、⑦認知症の人やその5の視点の重視であり、⑦は他の6つの全てに共通する、プラン全体の理念でもある。

	1	2	3	4	5
ア	3か年	ケアパス	若年	発見	介護職
イ	3か年	介護計画	脳血管	予防	家族
ウ	5か年	ケアパス	若年	予防	家族
エ	5か年	介護計画	脳血管	発見	介護職
オ	5か年	ケアパス	脳血管	予防	介護職

第5問 生活支援技術について、問1、問2に答えなさい。

問1 安心で快適な居住環境の整備について説明した文として、正しいものの組合せを選びなさい。

No.14

- ① バリアフリーは、できるだけ多くの人が年齢や能力の違いに関わらず可能な限り使いやすいデザインを目指す考え方である。
- ② 高齢者にとって和式の床や畳に座る生活様式はなじみのあるものだが、立ち座りの動作にかかる負担は大きくなるといった日本固有の住宅に関する問題点がある。
- ③ 厚生労働省が実施している人口動態調査（令和2年調査）によると、高齢者の家庭内事故による死因は「転倒・転落・墜落」よりも「煙、火及び火炎への曝露」の方が多い。
- ④ 浴室では、腰をかけて安定した姿勢で浴槽への出入りができるバスボードやからだの安定を保つための浴室用手すりを使用するなどの福祉用具の利用を考える。
- ⑤ 高齢者施設には様々なサインや掲示物がある。サインは、ピクトグラムで示すより文字で示した方が分かりやすい場合もある。

ア ①②④ イ ①②⑤ ウ ②③④ エ ②④⑤ オ ③④⑤

問2 次の文は、誤嚥予防のための食事姿勢や食事介助について述べたものです。1 ～ 5 に当てはまる語句の組合せとして、正しいものを選びなさい。

No.15

誤嚥を防ぐためには、ベッドを上げ上体を起こした姿勢をとるのが望ましい。身体を起こせない場合はクッションなどで上体を高くし、1 程度の傾斜にする。

次に、麻痺のある側を 2 にして顔と身体を横に向ける。布団や毛布を丸めて背中を支え姿勢を安定させるとよい。そして、姿勢を安定させるために両足の膝下を高くする。

座位の場合は両肘又は動かせる方の肘をしっかりテーブルにつける。介助は麻痺の 3 側の口唇から行う。飲み込む時は、頭を 4 した姿勢が安全である。

水分は最も誤嚥しやすいため、お茶や水は 5 で粘度を高めて飲むよう介助する。

	1	2	3	4	5
ア	10° ～ 30°	上	ある	前傾	油分
イ	10° ～ 30°	下	ある	前傾	とろみ剤
ウ	30° ～ 60°	上	ない	前傾	とろみ剤
エ	30° ～ 60°	下	ない	後傾	とろみ剤
オ	30° ～ 60°	上	ない	後傾	油分

第6問 介護場面における記録について説明した文として、正しいものの組合せを選びなさい。

No.16

- ① フェイスシートとは、日勤者から夜勤者になど、他の職員に業務を引き継ぐことを目的に業務内容や利用者の様子などを記載するものである。
- ② ケアカンファレンス記録とは、介護職、看護職、リハビリテーション職、栄養の専門職など多職種がよりよい支援について話し合ったことを記録するものである。
- ③ ジェノグラムとは、家族関係図といわれ、視覚的に理解できるように文字を少なくし、女性は○、男性は□で表すなど記号を用いて家族の状況を図示したものである。
- ④ エコマップとは、利用者を中心に家族や周囲の人、利用している病院や介護事業所などの関係を強弱で示したり、資源やエネルギーの流れる方向を矢印で示したものである。
- ⑤ バイタルサインチェック表とは、事故を未然に防ぐために、ヒヤリとしたりハッとしたりした内容を5W1Hで記録し、振り返り、予防策を書き記したものである。

ア ①②③ イ ①③④ ウ ①④⑤ エ ②③④ オ ③④⑤